

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-121005

(P2004-121005A)

(43) 公開日 平成16年4月22日(2004.4.22)

(51) Int.Cl.⁷

A01K 97/10

F1

A01K 97/10

Z

テーマコード(参考)

2B109

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2002-285385 (P2002-285385)

(22) 出願日 平成14年9月30日(2002.9.30)

(71) 出願人 502354661

鈴木 実

千葉県市川市南行徳2-4-14

(74) 代理人 100062199

弁理士 志賀 富士弥

(74) 代理人 100096459

弁理士 橋本 剛

(74) 代理人 100086232

弁理士 小林 博通

(72) 発明者 鈴木 実

千葉県市川市南行徳2-4-14

Fターム(参考) 2B109 CA41 CA45

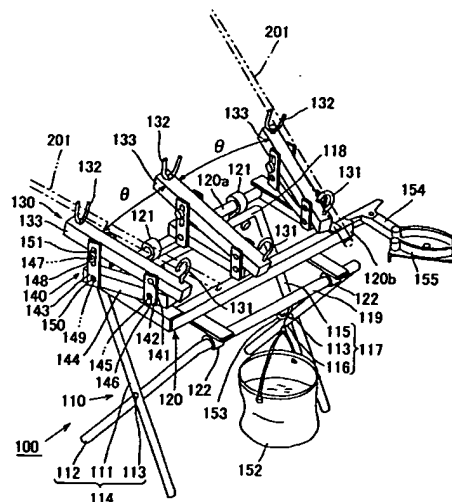
(54) 【発明の名称】 竿保持具

(57) 【要約】

【課題】 釣竿を所望の角度に傾斜させた状態で保持することができるようにする。

【解決手段】 竿保持具100は、脚部110と、該脚部110の上部に設けられた台座部120と、該台座部120上に設けられた竿支え部130と、該竿支え部130に保持されている竿を略水平状態から所定の仰角に変位可能な竿角度調整機構140を備えている。

【選択図】 図1



100…竿保持具
110…脚部
111…第1の脚部構成部
112…第2の脚部構成部
113…脚部
114…第1の脚部
115…第3の脚部
116…第4の脚部構成部
117…第2の脚部
118…第1の連結部
119…第2の連結部
120…台座部
120a…竿支え部
120b…竿支え部
121…竿支え部
122…竿支え部
123…竿支え部
124…竿支え部
125…竿支え部
126…竿支え部
127…竿支え部
128…竿支え部
129…竿支え部
130…竿支え部
131…竿支え部
132…竿支え部
133…竿支え部
134…竿支え部
135…竿支え部
136…竿支え部
137…竿支え部
138…竿支え部
139…竿支え部
140…角度調整機構
141…角度調整機構
142…角度調整機構
143…角度調整機構
144…角度調整機構
145…角度調整機構
146…角度調整機構
147…角度調整機構
148…角度調整機構
149…角度調整機構
150…釣竿
151…釣竿
152…釣竿
153…釣竿
154…釣竿
155…釣竿

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の脚構成部と第2の脚構成部を交叉させて交叉部を軸により回動可能に連結したX字状の第1の脚部と、
第3の脚構成部と第4の脚構成部を交叉させて交叉部を軸により回動可能に連結したX字状の第2の脚部と、
前記第1の脚部の第1の脚構成部の上端と前記第2の脚部の第3の脚構成部の上端とを連結している第1の連結部と、
前記第1の脚部の第2の脚構成部の上端と前記第2の脚部の第4の脚構成部の上端とを連結している第2の連結部と、
前記第1の連結部又は第2の連結部のいずれか一方の連結部に一端側が回動可能に取り付けられていて、他方の連結部に他端側を係止することにより、前記第1の連結部と第2の連結部の間に掛け渡されて、前記第1の脚部と第2の脚部を所定の角度に開脚させた状態でロックする台座部と、
前記台座部に設けられた竿支え部と、
前記竿支え部に保持されている竿を略水平状態から所定の仰角に変位可能な竿角度調整機構と、を備えている
ことを特徴とする竿保持具。

10

【発明の詳細な説明】

【0001】

20

【発明の属する技術分野】

本発明は、堤防や岸壁等において、所謂置き竿に使用する竿保持具に関するものである

【0002】

【従来の技術】

竿保持具として、図4に示すものが知られている。この竿保持具は、2本のパイプ脚7a、7bとパイプ脚8a、8bをそれぞれの中で回動自在に連結したX字状脚部9A、9Bを構成し、この2組のX字状脚部9A、9Bを平面ハの字状に組み合わせ、両X字状脚部9A、9Bの下部側で近接するパイプ脚7a、8aの下部を互いに連結すると共に、このパイプ脚7a、8aの上部を横方向に設けた竿支えシャフト2を介して連結し、両X字状脚部9A、9Bの上部側で近接するパイプ脚7b、8bの上部を互いに連結して、ここに竿押え19を設けると共に、この竿押え側と前記竿支えシャフト2とをステー17で着脱自在に連結したものである。

30

【0003】

【特許文献1】

特開2002-34417号公報（段落番号0008～0014、図1）

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、前記特開2002-34417号公報の竿保持具には、次に述べるような問題点があった。

（1）パイプ脚7a、8aの下部を互いに連結しているため、脚部の接地点は、実質的に3箇所となり、安定性が悪い。

40

（2）釣竿を水平状態にしか保持することができず、釣竿を所定の仰角（傾斜角度）に立てた状態で保持することができない。

【0005】

本発明の目的は、脚部の接地点を4箇所とすることにより、安定した状態で釣竿を保持することのできる竿保持具を提供することにある。

【0006】

また、本発明の他の目的は、釣竿を所望の角度に傾斜させた状態で保持することのできる竿保持具を提供することにある。

【0007】

50

【課題を解決するための手段】

本発明の竿保持具は、

第１の脚構成部と第２の脚構成部を交叉させて交叉部を軸により回動可能に連結したX字状の第１の脚部と、

第３の脚構成部と第４の脚構成部を交叉させて交叉部を軸により回動可能に連結したX字状の第２の脚部と、

前記第１の脚部の第１の脚構成部の上端と前記第２の脚部の第３の脚構成部の上端とを連結している第１の連結部と、

前記第１の脚部の第２の脚構成部の上端と前記第２の脚部と第４の脚構成部の上端とを連結している第２の連結部と、

前記第１の連結部又は第２の連結部のいずれか一方の連結部に一端側が回動可能に取付けられていて、他方の連結部に他端側を係止することにより、前記第１の連結部と第２の連結部の間に掛け渡されて、前記第１の脚部と第２の脚部を所定の角度に開脚させた状態でロックする台座部と、

前記台座部に設けられた竿支え部と、

前記竿支え部に保持されている竿を略水平状態から所定の仰角に変位可能な竿角度調整機構と、を備えている。

【０００８】

【発明の実施の形態】

図１は竿保持具を組み立てた状態の斜視図、図２は竿保持具を折り畳んだ状態の斜視図である。竿保持具１００は、脚部１１０と、該脚部１１０の上部に設けられた台座部１２０と、該台座部１２０上に設けられた竿支え部１３０と、該竿支え部１３０に保持されている竿を略水平状態から所定の仰角に変位可能な竿角度調整機構１４０を備えている。

【０００９】

前記脚部１１０は、第１の脚構成部１１１と第２の脚構成部１１２を交叉させて交叉部を軸１１３により回動可能に連結したX字状の第１の脚部１１４と、第３の脚構成部１１５と第４の脚構成部１１６を交叉させて交叉部を軸１１３により回動可能に連結したX字状の第２の脚部１１７と、前記X字状の第１の脚部１１４の第１の脚構成部１１１の上端と前記X字状の第２の脚部１１７の第３の脚構成部１１５の上端とを連結している第１の連結部１１８と、前記X字状の第１の脚部１１４の第２の脚構成部１１２の上端と前記X字状の第２の脚部１１７の第４の脚構成部１１６の上端とを連結している第２の連結部１１９と、を備えている。

【００１０】

前記第１の脚構成部１１１と、第３の脚構成部１１５と、第１の連結部１１８とは、アルミニウム等の金属パイプを略コ字状に折り曲げることにより形成されている。同様に、前記第２の脚構成部１１２と、第４の脚構成部１１６と、第２の連結部１１９とは、アルミニウム等の金属パイプを略コ字状に折り曲げることにより形成されている。

【００１１】

前記第１の脚部１１４と第２の脚部１１７をX字状に開くことにより使用状態になり、I字状に閉じることにより折畳状態になる。

【００１２】

前記台座部１２０は、アルミニウム等の金属パイプにより略矩形状に作られていて、長辺側の一辺１２０aの両端部が軸受部１２１によって前記第１の連結部１１８に回動可能に取付けられている。前記台座部１２０の長辺側の他辺１２０bには、前記第２の連結部１１９に係合する係止部１２２が設けられている。係止部１２２には、略逆U字状の金具が用いられている。そして、前記第１の脚部１１４と第２の脚部１１７をX字状に所定の角度開いて、前記係止部１２２としての略逆U字状の金具を前記第２の連結部１１９に係止することにより、前記第１の連結部１１８と第２の連結部１１９の間に掛け渡されて前記脚部１１０の上端部に支持された状態になると共に、前記第１の脚部１１４と第２の脚部１１７を所定の角度に開脚させた状態に固定するようになっている。前記台座部１２０

は、アルミニウム等の金属パイプにより形成されている。

【0013】

前記竿支え部130は、竿の基端部側を支持するC字状金具131と、竿の先端部側を支持するU字状金具132と、これらC字状金具131とU字状金具132を長手方向の一端部と他端部に取付けたベース部133と、を備えている。

【0014】

前記竿支え部130は、次に説明する竿角度調整機構140を介して前記台座部120に取付けられている。前記竿支え部130は、前記台座部120の中央部と両側部の3個所に設けられている。中央部の竿支え部130は、前記台座部120の一辺120a及び他辺120bに対して略直角に取付けられ、両側部の竿支え部130は、中央部の竿支え部130に対して所定の開き角度 θ を持たせた状態で取付けられている。そして、図1の2点鎖線に示すように、竿の基端部を前記C字状金具131に係止し、竿の先端部を前記U字状金具132上に載せた状態で竿201を保持するようになっている。

【0015】

前記竿角度調整機構140は、前記竿支え部130のベース部133の一端側（前記C字状金具131側）を軸141を介して回動可能に挟着支持している一対の第1のアーム142と、前記竿支え部130のベース部133の他端側（前記U字状金具132側）を高さ調整可能に挟着支持している一対の第2のアーム143と、前記第1のアーム142及び第2のアーム143を前記台座部120上に組付けるための組付部144と、を備えている。

【0016】

前記第1のアーム142は、その上端部において前記軸141で竿支え部130のベース部133の一端側（前記C字状金具131側）を回動可能に支持していると共に、その下端部は、ボルト145とナット146により前記組付部144に取付けられている。

【0017】

前記第2のアーム143は、その上端部においてボルト147とナット148により前記竿支え部130のベース部133の他端側（前記U字状金具132側）を締め付けて支持していると共に、その下端部は、ボルト149とナット150により前記組付部144に取付けられている。

【0018】

前記第2のアーム143は、前記軸141を中心にして円弧状のボルト受孔151を備えている。そして、前記ナット148を緩めると前記竿支え部130のベース部133は、前記軸141を中心にして回動し、前記ボルト147が前記円弧状のボルト受孔151内を移動して、前記竿支え部130のベース部133のU字状金具132側の端部の高さ調整、即ち前記竿支え部130の仰角の調整が可能になる。

【0019】

そして、竿支え部130の仰角の調整を行なったのち、前記ナット148の締め付けを行なえば、竿支え部130は、所定の仰角にロックされた状態になる。

【0020】

なお、前記第2の連結部119の中央部には、バケツ152を吊り下げるためのバケツ吊下部153が設けられている。また、前記台座部120の一侧部には折畳み可能なアーム154により餌箱155が台座部120の一侧部に延ばした状態から、台座部120の前方に重ね合せた状態に折畳可能に取付けられている。

【0021】

次に、本発明の竿保持具1の使用方法について説明する。不使用時には、図2に示すように、先ず、脚部110をI字状に折り畳み、その前方に台座部120を重ね合せた状態にすると共に、餌箱155も台座部120を重ね合せるように折り畳むことにより、竿保持具1は、収納や持ち運びに便利なものになる。

【0022】

竿保持具1を使用する際には、先ず、I字状に折り畳まれている脚部110に対して、台

座部 120 を起こすように略 90° 回動させる。次に、脚部 110 を X 字状に開けば、脚部 110 は、第 1 の脚構成部 111、第 2 の脚構成部 112、第 3 の脚構成部 115、第 4 の脚構成部 116 で安定した状態で起立し、前記第 2 の連結部 119 に、台座部 120 に設けた略逆 U 字状のフック 122 を係止すれば、台座部 120 は、前記脚部 110 の上端部に支持された状態になると共に、前記第 1 の脚部 114 と第 2 の脚部 117 は、開脚された状態に維持される。

【0023】

次に、水を張ったバケツ 152 を前記第 1 のアーム 142 の中央部に設けたバケツ吊下部 153 に吊り下げて重錘として、脚部 110 を容易に転倒することの無い安定したものとすると共に、必要に応じて餌箱 155 を引き出して使用し易い状態にする。

10

【0024】

次に、竿角度調整機構 140 で竿支え部 130 の傾斜角度を調整し、竿支え部 130 に竿 201 を取付ければ、所謂置竿が完了するのである。

【0025】

図 3 は、前記竿角度調整機構 140 の他の実施例を示す。この実施例において、竿角度調整機構 140 は、前記竿支え部 130 のベース部 133 の一端側（前記 C 字状金具 131 側）を軸 141 を介して回動可能に挟着支持している一対の第 1 のアーム 142 と、前記竿支え部 130 のベース部 133 の他端側（前記 U 字状金具 132 側）を高さ調整可能に挟着支持している一対の第 2 のアーム 143 と、前記第 1 のアーム 142 及び第 2 のアーム 143 を前記台座部 120 上に組付けるための組付部 144 と、を備えている。

20

【0026】

前記第 1 のアーム 142 は、その上端部において前記軸 141 で竿支え部 130 のベース部 133 の一端側（前記 C 字状金具 131 側）を回動可能に支持していると共に、その下端部は、ボルト 145 とナット 146 により前記組付部 144 に取付けられている。

【0027】

前記第 2 のアーム 143 は、下端部が軸 161 により回動可能に組付部 144 に取付けられている。前記第 2 のアーム 143 は、長さ方向に伸びる第 1 の長孔 162 を備えている。前記第 1 の長孔 162 は、前記組付部 144 に設けた第 2 の長孔 163 と交叉している。前記第 1 の長孔 162 及び第 2 の長孔 163 にはボルト 164 が挿入されている。前記ボルト 164 の両端部にはナット 165 が螺合されている。そして、前記ナット 165 を緩めて前記ボルト 164 を前記第 2 の長孔 163 の一端部側（図 3 の右端側）に移動させると、前記ベース部 133 及び第 2 のアーム 143 は、前記組付部 144 上に重なり合っ

30

て折り畳まれた状態になる。また、図 3 に 2 点鎖線で示すように、前記ベース部 133 を起立方向に傾斜させると、前記ボルト 164 は、前記第 2 の長孔 163 の一端部側から他端部側に移動する。そして、前記ベース部 133 を所望の角度に傾斜させたら、前記ボルト 164 を締めて前記一対の第 2 のアーム 143 で前記ベース部 133 を挟着すれば、前記ベース部 133 は、所望の傾斜角度に固定された状態になるのである。他の構成は、基本の実施例と同じであるので重複する説明は省略する。

【0028】

なお、図面に示す実施例では、3 個の竿支え部 130 を設け、これら 3 個の竿支え部 130 にそれぞれ 1 本の竿を保持する場合を示したが、竿支え部 130 の数は、1 個でも 2 個でも 4 個以上でも良い。また、1 個の竿支え部 130 の複数の竿を保持する構成にしても良い。また、実施例では、台座部 120 の一側部を前記脚部 110 の第 2 の連結部 119 に係合する係止部 122 として略逆 U 字状の金具を使用した場合を示したが、係止部 122 としてボルトやナット等を使用しても良い。

40

【0029】

【発明の効果】

本発明の竿保持具には次に述べるような効果がある。

(1) 脚部の接地点を 4 個所とすることにより、安定した状態で釣竿を保持することのできる。

50

(2) 竿角度調整機構で竿支え部の傾斜角度を調整することにより竿を水平状態のみならず、所定の仰角に保持することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 竿保持具の使用状態を示す斜視図。

【図 2】 竿保持具を折り畳んだ状態を示す斜視図。

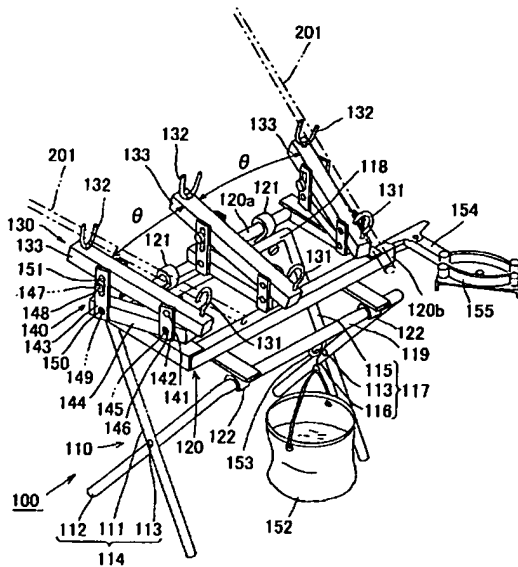
【図 3】 竿角度調整機構の他の実施例を示す説明図。

【図 4】 従来例の斜視図。

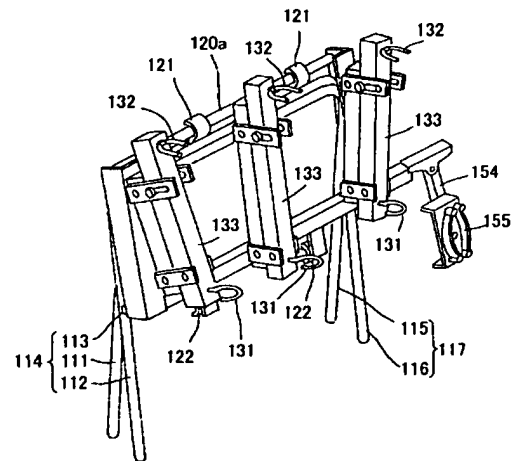
【符号の説明】

100…竿保持具、110…脚部、111…第1の脚部構成部、112…第2の脚部構成部、113…軸、114…第1の脚部、115…第3の脚部構成部、116…第4の脚部構成部、117…第2の脚部、118…第1の連結部、119…第2の連結部、120…台座部、130…竿支え部、140…角度調整機構。

【図 1】

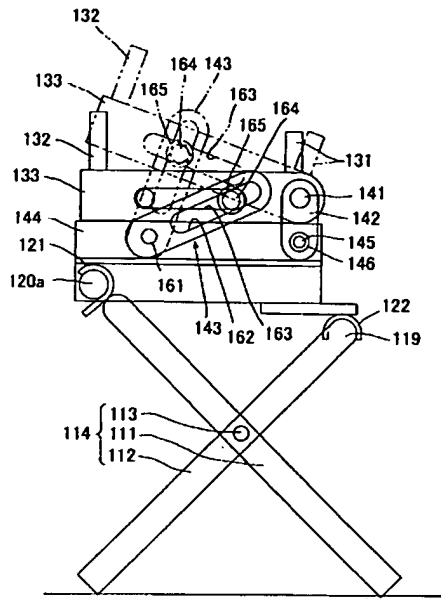


【図 2】

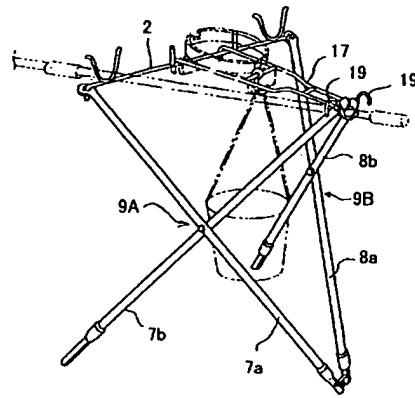


- | | |
|--------------|--------------|
| 100…竿保持具 | 116…第4の脚部構成部 |
| 110…脚部 | 117…第2の脚部 |
| 111…第1の脚部構成部 | 118…第1の連結部 |
| 112…第2の脚部構成部 | 119…第2の連結部 |
| 113…軸 | 120…台座部 |
| 114…第1の脚部 | 130…竿支え部 |
| 115…第3の脚部 | 140…角度調整機構 |

【図 3】



【図 4】



PAT-NO: JP02004121005A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2004121005 A

TITLE: HOLDING TOOL FOR ROD

PUBN-DATE: April 22, 2004

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

SUZUKI, MINORU

COUNTRY

N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

SUZUKI MINORU

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP2002285385

APPL-DATE: September 30, 2002

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To hold a fishing rod in a state thereof tilted at a desired angle.

SOLUTION: A holding tool 100 for the rod is equipped with leg parts 110, a pedestal part 120 provided in the upper part of the leg parts 110, rod supporting parts 130 provided above the pedestal part 120 and a rod angle regulating mechanism 140 displacing the rod held with the rod supporting parts 130 from a nearly horizontal state to a prescribed angle of elevation.

COPYRIGHT: (C)2004,JPO

DERWENT-ACC-NO: 2004-322723

DERWENT-WEEK: 200430

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Pole holder e.g. for fishing rods at quay, has
angle adjustment mechanism displacing poles held in
pole support on stand seat, to preset elevation
angle from horizontal state

PATENT-ASSIGNEE: SUZUKI M[SUZUI]

PRIORITY-DATA: 2002JP-0285385 (September 30, 2002)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 2004121005 A	April 22, 2004	N/A
007 A01K 097/10		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2004121005A	N/A	2002JP-0285385
September 30, 2002		

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2004121005A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A stand seat (120) has a pair of legs (114,117) attached to the links (118,119), straddled at a preset angle. An angle adjustment mechanism (140) displaces the poles held in a pole support (130) on the stand seat, to a preset elevation angle from a substantially horizontal state.

USE - For holding poles such as fishing rods at an embedment and quay.

ADVANTAGE - The fishing rods are in inclined state at desired angle,

by using
the angle adjustment mechanism.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows a perspective view showing the working condition of the pole holder. (Drawing includes non-English language text).

pole holder 100

legs 114,117

links 118,119

stand seat 120

pole support 130

pole angle adjustment mechanism 140

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/4

TITLE-TERMS: POLE HOLD FISH ROD QUAY ANGLE ADJUST MECHANISM DISPLACE
POLE HELD
POLE SUPPORT STAND SEAT PRESET ELEVATE ANGLE HORIZONTAL
STATE

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2004-257060